



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年1月27日

上場取引所 東

上場会社名 岩井コスモホールディングス株式会社

コード番号 8707 URL <http://www.iwaicosmo-hd.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長 CEO (氏名) 沖津 嘉昭

問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役社長 COO (氏名) 笹川 貴生 TEL 06-6229-2800

四半期報告書提出予定日 2020年2月10日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績 (2019年4月1日~2019年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		純営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	14,328	△10.7	14,026	△11.3	2,958	△29.3	3,328	△27.3	2,307	△29.3
2019年3月期第3四半期	16,043	4.2	15,818	5.0	4,187	14.1	4,578	15.1	3,262	△6.2

(注) 包括利益2020年3月期第3四半期 2,326百万円 (△13.5%) 2019年3月期第3四半期 2,691百万円 (△40.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	98.23	—
2019年3月期第3四半期	138.90	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	190,257	50,613	26.6
2019年3月期	178,897	50,048	28.0

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 50,613百万円 2019年3月期 50,048百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	20.00	—	55.00	75.00
2020年3月期	—	20.00	—	—	—
2020年3月期 (予想)	—	—	—	—	—

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注2) 当社は、定款において期末日及び第2四半期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では期末日における配当予想額は未定であります。

3. 2020年3月期の連結業績予想 (2019年4月1日~2020年3月31日)

(注) 当社グループの業績は、経済情勢や市場環境の変動により大きく影響を受ける状況にあり、業績予想は開示しておりません。しかし、四半期毎の業績については、合理的な見積りが可能となった時点で開示いたします。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期3Q	25,012,800株	2019年3月期	25,012,800株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	1,523,687株	2019年3月期	1,523,687株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期3Q	23,489,113株	2019年3月期3Q	23,489,123株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当社グループの業績は、経済情勢や市場環境の変動により大きく影響を受ける状況にあり、業績予想は開示しておりません。しかし、四半期毎の業績・配当予想額については、合理的な見積りが可能となった時点で開示いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
3. 補足情報	9
(1) 受入手数料	9
(2) トレーディング損益	10
(3) 自己資本規制比率	10
(4) 連結損益計算書の四半期推移	11

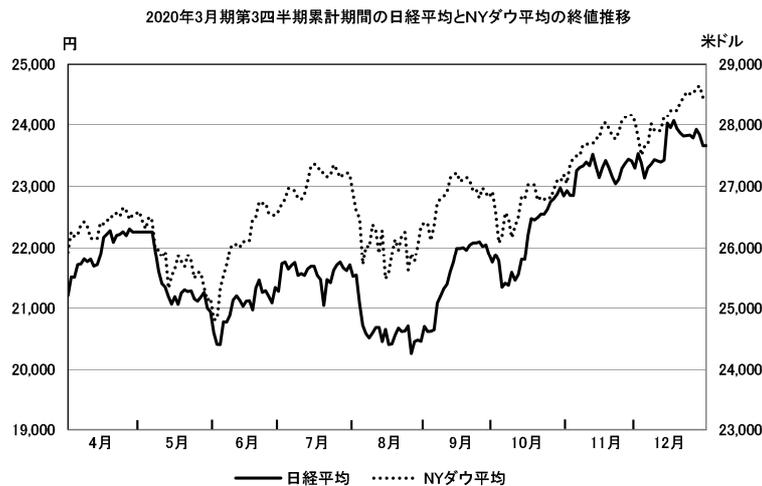
1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2019年4月1日～2019年12月31日）におけるわが国経済は、輸出など一部に弱さが見られるものの、雇用・所得環境の改善が続く中、各種政策効果もあって緩やかな回復基調で推移しました。一方、世界の経済情勢は、米国経済を中心として回復傾向にありますが、米中の貿易摩擦の長期化や英国のEU離脱問題に加え、中東情勢の緊迫化による地政学的リスクの高まりなどから、先行き不透明な状況が続きました。

こうした経済環境のもと、国内株式市場は、米中貿易協議の進展期待を背景に上昇基調で始まったものの、5月には、米国トランプ大統領の対中関税引き上げ表明を嫌気し、日経平均株価（終値）は、6月前半に20,400円台まで下落しました。その後、9月上旬までは21,000円前後の狭いレンジ内で推移しましたが、世界的な金融緩和の流れや米国の株高を好感して、日経平均株価（終値）は上昇基調を辿り、12月13日には1年2ヶ月ぶりに24,000円台となりました。また、12月末の終値は、前期末を11.6%上回る23,656円62銭となりました（2019年3月末 21,205円81銭）。

一方、米国株式市場は、中国通信機器大手ファーウェイへの制裁発動など米中対立の激化を背景に下落し、5月末にはダウ工業株30種平均（終値）が25,000ドルを割り込みました。しかし、6月に入ると、パウエルFRB（米国連邦準備制度理事会）議長が政策金利引き下げの可能性を示唆したことなどから、株価は反転し、ダウ工業株30種平均（終値）は、7月3日に2018年10月以来となる史上最高値を更新しました。8月には、長短金利（10年債と2年債）逆転（逆イールド）を受けた景気後退への懸念で調整色を強めましたが、10月中旬以降は、米中貿易協議の部分的合意や3会合連続となる政策金利の引き下げなどを好感して、株価は上昇基調を辿りました。ダウ工業株30種平均（終値）は、11月15日に28,000ドルを上回ると、その後も史上最高値を切り上げ、12月末の終値は、前期末を10.1%上回る28,538ドル44セントとなりました（2019年3月末 ダウ工業株30種平均 25,928ドル68セント）。



当社グループの中核事業を担う岩井コスモ証券株式会社は、引き続き、世界を牽引する米国企業の株式や利回りが魅力のトルコリラ建て債券等の販売を強化しました。また、投資信託においては、5G関連をはじめ、中長期に高成長が期待されるファンドの取り扱いに加え、「人生100年時代」など高齢化社会における個人の資産形成に向けて、中長期に安定した収益が期待できる債券型ファンドの販売に注力しました。その他、タブレット端末等のICT（情報通信技術）を活用した働き方改革の推進を通じて、お客様サービスの向上とともに、テレワーク等による業務の効率化を一層推進しました。こうした取り組みが認められ、2019年11月には、総務省よりテレワークの導入・活用を進めている企業等を選出する「テレワーク先駆者百選」に、証券会社として初めて選ばれました。

このように、投資環境に応じた営業展開や生産性向上への取り組みに注力しましたが、米中貿易摩擦の激化をはじめ、海外の不透明要因を背景とする投資家のリスク回避姿勢の強まりから、当社グループの営業収益は143億2800万円（対前年同期比10.7%減少）、純営業収益は140億2600万円（同11.3%減少）となりました。一方、販売費・一般管理費は、賞与などの変動費項目の減少を主因として110億6700万円（同4.8%減少）となり、経常利益は33億2800万円（同27.3%減少）、親会社株主に帰属する四半期純利益は23億7000万円（同29.3%減少）となりました。

主な収益と費用の概況は、以下のとおりであります。

(受入手数料)

受入手数料は71億59百万円(対前年同期比5.0%減少)となりました。内訳は以下のとおりであります。

①委託手数料

委託手数料は、国内株式を中心に31億77百万円(対前年同期比18.3%減少)となりました。

②引受け・売出し・特定投資家向け売付け勧誘等の手数料

株式の手数料は25百万円(対前年同期比91.5%減少)となりました。一方、債券の手数料は1億59百万円(同123.4%増加)となり、引受け・売出し・特定投資家向け売付け勧誘等の手数料全体では1億85百万円(同50.7%減少)となりました。

③募集・売出し・特定投資家向け売付け勧誘等の取扱手数料

募集・売出し・特定投資家向け売付け勧誘等の取扱手数料は、投資信託の販売手数料を中心に22億64百万円(対前年同期比39.4%増加)となりました。

④その他の受入手数料

その他の受入手数料は、投資信託の信託報酬を中心に15億31百万円(対前年同期比7.0%減少)となりました。

(トレーディング損益)

株券等トレーディング損益は、42億78百万円の利益(対前年同期比18.3%減少)となりました。一方、債券等トレーディング損益は、11億41百万円の利益(同2.7%増加)となり、合計のトレーディング損益は54億0百万円の利益(同14.8%減少)となりました。

(金融収支)

金融収益は、信用取引収益を中心に17億68百万円(対前年同期比18.4%減少)となりました。一方、金融費用は3億2百万円(同34.4%増加)となり、差し引き金融収支は14億66百万円(同24.5%減少)となりました。

(販売費・一般管理費)

販売費・一般管理費は、賞与や取引関係費等の変動費項目の減少を主因として、110億67百万円(対前年同期比4.8%減少)となりました。

(営業外損益)

営業外損益は、受取配当金を中心に3億69百万円の利益(対前年同期比5.4%減少)となりました。

(特別損益)

特別損益は、システムの移行に伴う費用の計上により59百万円の損失となりました(前年同期は1百万円の利益)。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は1,902億57百万円(対前連結会計年度末比113億59百万円増加)となりました。

流動資産は顧客分別金信託の増加などにより1,776億53百万円(同113億86百万円増加)となりました。固定資産は繰延税金資産の減少などにより126億4百万円(同26百万円減少)となりました。

一方、負債合計は1,396億43百万円(同107億94百万円増加)となりました。

流動負債は顧客からの預り金の増加などにより1,328億4百万円(同107億94百万円増加)となりました。固定負債は63億65百万円(同0百万円増加)となりました。

純資産合計は506億13百万円(同5億65百万円増加)となり、自己資本比率は26.6%(前連結会計年度末は28.0%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの業績は、経済情勢や市場環境の変動により大きく影響を受ける状況にあり、業績・配当予想は開示しておりません。しかし、四半期毎の業績については、合理的な見積りが可能となった時点で開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金・預金	7,738	10,136
預託金	87,367	101,445
顧客分別金信託	87,000	101,000
その他の預託金	367	445
トレーディング商品	1,950	2,179
商品有価証券等	1,949	2,176
デリバティブ取引	1	2
約定見返勘定	344	56
信用取引資産	53,197	49,506
信用取引貸付金	50,383	44,477
信用取引借証券担保金	2,814	5,029
有価証券担保貸付金	2,197	1,492
借入有価証券担保金	2,197	1,492
立替金	1,053	1,074
短期差入保証金	9,932	9,767
未収収益	1,447	1,281
その他の流動資産	1,041	716
貸倒引当金	△5	△4
流動資産計	166,266	177,653
固定資産		
有形固定資産	1,638	1,536
建物	219	212
器具備品	865	774
土地	541	541
その他	12	7
無形固定資産	551	650
ソフトウェア	551	650
その他	0	0
投資その他の資産	10,440	10,417
投資有価証券	9,397	9,580
長期差入保証金	684	686
繰延税金資産	319	35
その他	336	310
貸倒引当金	△295	△194
固定資産計	12,630	12,604
資産合計	178,897	190,257

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
トレーディング商品	351	113
商品有価証券等	346	106
デリバティブ取引	5	6
信用取引負債	17,770	22,150
信用取引借入金	7,149	9,711
信用取引貸証券受入金	10,621	12,438
有価証券担保借入金	16,043	4,475
有価証券貸借取引受入金	16,043	4,475
預り金	38,146	53,512
顧客からの預り金	36,115	46,709
その他の預り金	2,031	6,802
受入保証金	42,389	47,066
短期借入金	4,100	4,000
未払法人税等	1,364	76
賞与引当金	867	357
その他の流動負債	974	1,052
流動負債計	122,009	132,804
固定負債		
社債	4,000	4,000
繰延税金負債	1,848	1,828
資産除去債務	360	385
その他の固定負債	155	151
固定負債計	6,364	6,365
特別法上の準備金		
金融商品取引責任準備金	475	474
特別法上の準備金計	475	474
負債合計	128,849	139,643
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,004	10,004
資本剰余金	4,890	4,890
利益剰余金	32,333	32,879
自己株式	△1,702	△1,702
株主資本合計	45,525	46,071
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,522	4,542
その他の包括利益累計額合計	4,522	4,542
純資産合計	50,048	50,613
負債・純資産合計	178,897	190,257

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
営業収益		
受入手数料	7,537	7,159
委託手数料	3,888	3,177
引受け・売出し・特定投資家向け売付け勧誘 等の手数料	376	185
募集・売出し・特定投資家向け売付け勧誘等 の取扱手数料	1,624	2,264
その他の受入手数料	1,647	1,531
トレーディング損益	6,337	5,400
金融収益	2,168	1,768
営業収益計	16,043	14,328
金融費用	224	302
純営業収益	15,818	14,026
販売費・一般管理費	11,630	11,067
取引関係費	1,814	1,730
人件費	5,926	5,503
不動産関係費	1,063	1,096
事務費	1,861	1,749
減価償却費	509	556
租税公課	288	260
その他	166	170
営業利益	4,187	2,958
営業外収益	394	378
営業外費用	4	9
経常利益	4,578	3,328
特別利益		
金融商品取引責任準備金戻入	1	0
特別利益計	1	0
特別損失		
システム移行に伴う費用	—	59
特別損失計	—	59
税金等調整前四半期純利益	4,579	3,269
法人税、住民税及び事業税	989	711
法人税等調整額	327	250
法人税等合計	1,317	962
四半期純利益	3,262	2,307
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,262	2,307

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	3,262	2,307
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△571	19
その他の包括利益合計	△571	19
四半期包括利益	2,691	2,326
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,691	2,326

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

3. 補足情報

(1) 受入手数料

①科目別内訳

(単位：百万円)

	前第3四半期 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
委託手数料	3,888	3,177
(株券)	(3,719)	(3,053)
(債券)	(0)	(0)
(受益証券)	(168)	(123)
(その他)	(0)	(0)
引受け・売出し・特定投資家向け 売付け勧誘等の手数料	376	185
(株券)	(305)	(25)
(債券)	(71)	(159)
募集・売出し・特定投資家向け 売付け勧誘等の取扱手数料	1,624	2,264
その他の受入手数料	1,647	1,531
合計	7,537	7,159

②商品別内訳

(単位：百万円)

	前第3四半期 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
株券	4,126	3,164
債券	93	183
受益証券	3,223	3,750
その他	93	60
合計	7,537	7,159

(2) トレーディング損益

(単位：百万円)

	前第3四半期 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
株 券 等	5,237	4,278
債 券 等	1,111	1,141
そ の 他	△11	△19
合 計	6,337	5,400

(3) 自己資本規制比率 岩井コスモ証券株式会社(単体)

(単位：百万円)

	前第3四半期末 (2018年12月31日)	当第3四半期末 (2019年12月31日)	前事業年度末 (2019年3月31日)
基本的項目 (A)	41,415	42,763	41,101
補完的項目 (B)	694	844	724
その他有価証券評価差額金(評価益)	212	365	243
金融商品取引責任準備金	475	474	475
一般貸倒引当金	5	4	5
控除資産 (C)	3,911	3,752	4,161
固定化されていない自己資本 (A) + (B) - (C) (D)	38,197	39,855	37,663
リスク相当額 (E)	5,347	5,048	5,257
市場リスク相当額	220	249	243
取引先リスク相当額	1,380	1,257	1,296
基礎的リスク相当額	3,745	3,541	3,718
自己資本規制比率 (%) (D) / (E) × 100	714.3	789.3	716.3

(4) 連結損益計算書の四半期推移

(単位:百万円)

	前第3四半期 (2018.10.1 2018.12.31)	前第4四半期 (2019.1.1 2019.3.31)	当第1四半期 (2019.4.1 2019.6.30)	当第2四半期 (2019.7.1 2019.9.30)	当第3四半期 (2019.10.1 2019.12.31)
営業収益					
受入手数料	2,554	2,049	2,001	2,326	2,831
委託手数料	1,320	1,005	928	945	1,303
引受け・売出し・特定投資家 向け売付け勧誘等の手数料	288	18	69	93	22
募集・売出し・特定投資家 向け売付け勧誘等の取扱手数料	420	508	478	771	1,014
その他の受入手数料	525	517	524	516	490
トレーディング損益	1,923	2,577	2,141	1,827	1,431
金融収益	673	571	553	588	626
営業収益計	5,151	5,198	4,696	4,743	4,889
金融費用	72	65	85	97	119
純営業収益	5,079	5,132	4,610	4,645	4,769
販売費・一般管理費	3,830	3,796	3,679	3,663	3,724
取引関係費	598	563	563	565	600
人件費	1,907	1,950	1,818	1,839	1,846
不動産関係費	350	351	364	362	369
事務費	664	597	593	580	574
減価償却費	174	186	183	181	192
租税公課	82	90	95	82	82
その他	52	56	60	51	58
営業利益	1,249	1,336	931	981	1,045
営業外収益	130	45	219	41	118
営業外費用	1	35	3	1	5
経常利益	1,378	1,346	1,147	1,021	1,158
特別利益	—	—	0	—	—
特別損失	—	—	—	19	40
税金等調整前四半期純利益	1,378	1,346	1,148	1,002	1,118
法人税、住民税及び事業税	146	605	82	439	189
法人税等調整額	253	△144	239	△148	159
四半期純利益	978	885	825	711	769
親会社株主に帰属する四半期純利益	978	885	825	711	769